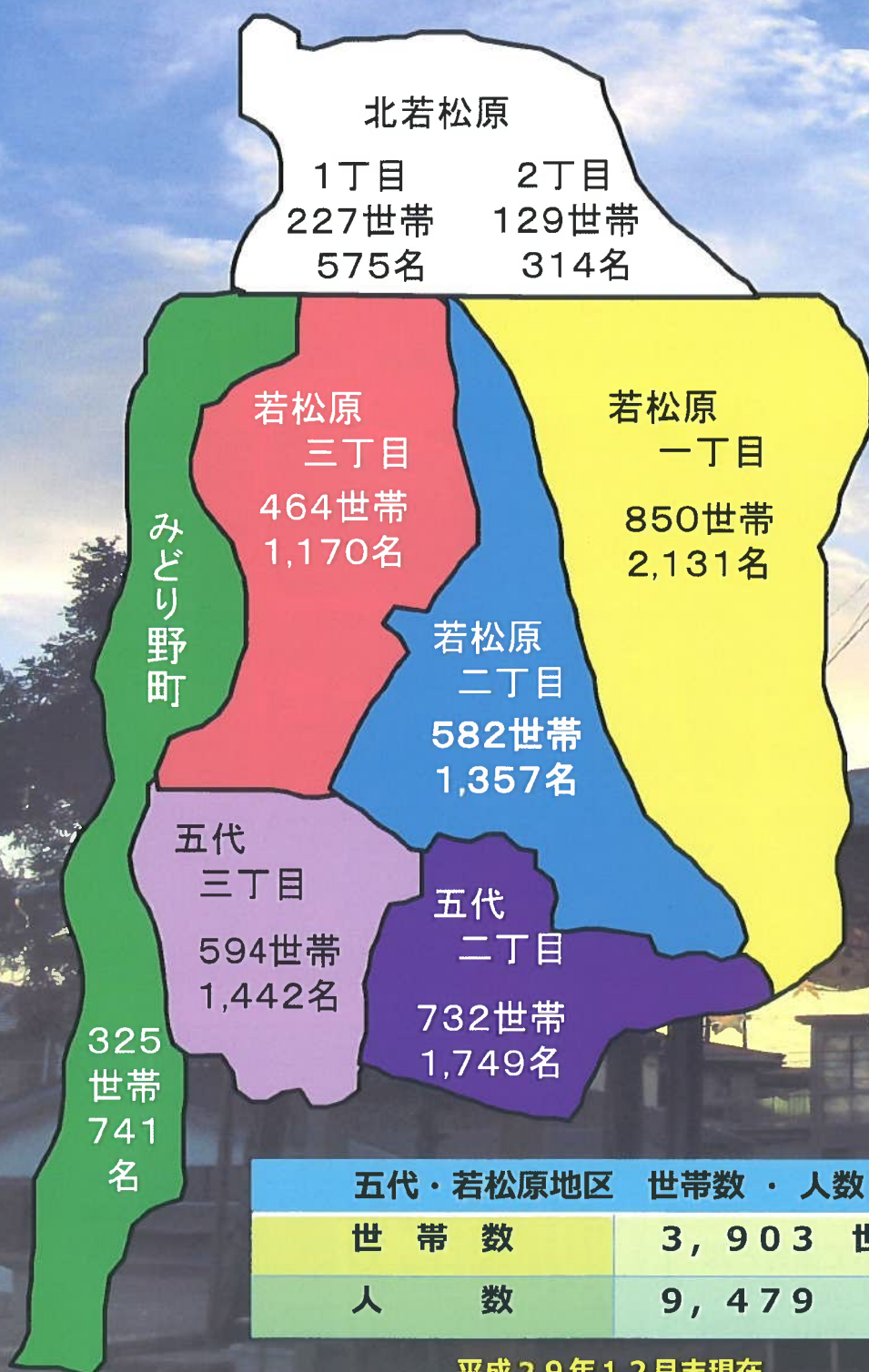


まちづくり通信

平成31年1月号 Vol.38



五代・若松原地区 世帯数・人数	
世帯数	3,903 世帯
人数	9,479 人

平成29年12月末現在

五若ふれあいのつどい

地域内学校リレーコーナー

今回からリレー形式で地域内学校を紹介します、第一回目は【わかまつはら】中学校です。みなさん！今さらですが私たちが住んでいる地区は【ごだいわわかまつはら地区】ですよ、最近【わかまつばら】って人もいますが、これは間違い！固有名詞ですので少なくとも住んでいる私たちは間違えることなく【わかまつはら】と呼びましょう。

わかまつはら

若松原中学校

地域とともに

昭和57年4月1日に誕生した、宇都宮市で2番目に新しい中学校です。生徒数642名、普通学級20、特別支援学級2、職員数54名の宇都宮市内中学校では中規模の学校です。知徳体のバランスのとれた生徒の育成と安心安全な学校を目指し、日々の教育活動を行っています。

21世紀の社会は急速な社会や生活の変化が予想されます。その中で子供たちは、自らの力で未来を切り拓く資質・能力を身に付けることが重要です。そのため、学校は、生徒の学びが実社会とのかかわりの中で豊かに育まれるよう、地域連携をしっかりと行っていくことが求められています。そこで、本校の地域連携について、主なものを紹介します。

- 1 生徒会活動
 - ・地区内行事でのボランティア活動
 - ・あいさつ運動（五代小・新田小との連携）
 - ・地区内清掃活動（ビックリーン、リトルクリーン）
- 2 学校行事
 - ・体育祭、文化祭での連携
 - ・社会体験学習（宮っ子チャレンジウィーク）での受け入れ
- 3 魅力ある地域協議会の活動
 - ・そば打ち体験
 - ・下校指導
 - ・学校環境整備活動



リトルクリーン（奉仕作業）



そば打ち体験

生徒たちは、地域で学び、地域に育てられます。これらの体験を通して、将来地域の担い手に、またよりよい社会を創っていく人材になっていくと考えています。

宇都宮市立若松原中学校長 山本伸夫

◆次回紹介予定・・・五代小学校

目次

- | | | | |
|------------------|-------------|-----|------------|
| P-1 世帯数・人数・マップ | ・敬老の日祝賀会 | P-7 | ・スポーツゾーン紹介 |
| p-2 地域内学校リレーコーナー | | | ・環状の交差点 |
| ・若松原中学校 | P-4 | | ・ラウンドアバウト |
| P-3 主な行事紹介 | ・五若の日（25周年） | | ・桜植樹イベント |
| ・ソフトボール大会 | P-5 | | |
| ・バレーボール大会 | ・ふれあいキャンプ | P-8 | ・五若地域の歴史紹介 |
| ・五代夏まつり | ・青パトパレード | | ・西原開拓団・地神 |
| | P-6 | | ・編集後記 |
| | ・文化祭 | | |
| | ・ティ-ボール大会 | | |
| | ・ふれあいのつどい | | |

主 な 行 事 結 果

5/13 (土)

ソフトボール大会

五代小校庭

7自治会総勢165名が参加し行なわれました皆さん老体にむちうち、元気いっぱい頑張りました。結果は次の通りです。

優 勝 若松原二丁目
準優勝 みどり野 三 位 北若松原



6/10(日)

バレーボール大会

若松原中体育館

7自治会総勢150名が参加し行なわれました、日頃のストレスをボールと応援につけ頑張りました。結果は次の通りです。

優 勝 若松原三丁目
準優勝 若松原二丁目 三位 若松原一丁目



8/4(土)

五代 夏まつり

五代小学校

五代小学校学区内12自治会総勢1,500名が参加し行なわれました、各自治会テントの中でコップを片手に応援してる人、提灯の下を、皆さんお揃いのハッピーを着たり仮装をして、笑顔いっぱい踊っておりました。



9/15 (土)

敬老の日祝賀会

若松原中体育館

本年は、敬老会対象者860名、参加希望者278名という状況でした。

今年の、100歳は2名、米寿の方は25名です多くの御来賓の皆様、自治会長様の参加を頂き、式典ではコーラス“ひばり”の皆さんによる合唱、みどり野町在住の島田さん・江田さんによる吟詠剣詩舞など楽しい一時を過ごしました。

今年度も雨の中、198名の参加をいただきました、体育館の借用が当日のみということで、事前準備ができず記念品の袋詰めをコミセン会議室で行い、会場作りを当日朝いたしました、短い時間の中でご協力いただきました皆様、大ありがとうございました。

次回も、より良い敬老会が開催できればと考えております。



8 / 26 (日) 第15回五若の日

25周年
記念事業

若松原中

五若の日」記念事業が熱く燃えた!!

「五若の日」つまり五代若松原地区が出来たことを祝う日でもあり、私たちの“ふるさと五若”を愛する人たちが一堂に会して語り合い、同じ思いの“ひととき”を過ごした日でもありました、今回は、五代若松原地区連合自治会の創設25周年を記念して開催されました。25周年の節目ですが、ささやかなイベントを企画して行いました。

イベントは9:30に「子ども神輿」の町内練り歩きから始まり、式典では、地区功労者2名(若戸肇様・小野口乾二様)に感謝状が贈呈されました。その後は、バスケットボールチームのリンク栃木ブレックスをお迎えして、ミニゴールとミニボールを使いマスコットキャラクターのブレッキーと一緒にシュートゲームで遊びました。

また、チアリーダーのBREXYと一緒にダンスを踊り記念写真を撮りました。

その後は私たちの五若地区連合自治会の各部会が、様々なアイデアで13:00までイベントを展開しました。体育館内イベントは昔遊び(老人クラブ・民児協)、手作り工作コーナー(育成部)、健康測定コーナー(健康づくり推進協議会)、ごみ分別クイズ(リサイクル推進協議会)、シミュレーター体験+身体機能測定器体験(交通安全部)を実施しました。

賑わいコーナー(屋外イベントコーナー)

ぶっかけうどん(体育協会)、かき氷(社会福祉協議会)、ポップコーン(防災会)、フランクフルト(婦人部)、麦茶コーナー(婦人防火部)だんご・から揚げ・ハムカツ・コロツケ・手作りパンを婦人防火部が販売しました。楽しい一日でした!!

五若の日記念事業実行委員会 実行委員長 杉山 博

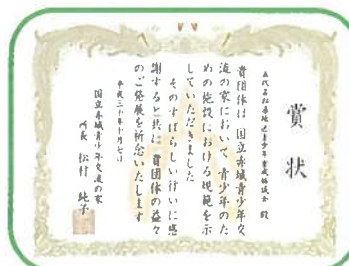


10/6・7 (土・日) ふれあいキャンプ 赤城青少年交流の家

『体験を通じて地域の子も達の交流を図る』目的でキャンプを行い、色々な体験をさせています。

今回、すべての行いにおいて優秀と認められ施設より表彰されました。

青少年育成協議会 会長 高山 英樹



10/6(土)

青パトパレード

アピタ宇都宮店

“みんなでつくろう安心の街”をスローガンにした全国地域安全運動(10月11日～20日)の周知行動として、10月6日(土)アピタ宇都宮店駐車場において地域安全運動パレード・青パト出発式が行われました。出発式には五若連合より6名が参加、小池会長が青パト隊旗を全参加者代表して受け取り、青パト9台、山車2台、パトカー2台など13台を連れ出発しました。

パレードコース途中のインターパークビレッジにおいては五若連合自治会防犯部長さん7名も加わり雀宮・横川・瑞穂野防犯協会の皆さん方と共に特殊詐欺被害防止、子ども・女性の犯罪被害防止などを訴えるチラシを配るなど広報活動を行ってきました。

防犯部会 会長 阿部 晃



11/10・11 (土・日)

文化祭

コミュニティセンター

好天に恵まれた11月10日・11日の2日間にわたり「第8回ふれあい文化祭」が行われました。オープニングでのコーラス・絵画・書・写真・絵手紙・工芸・手芸・お花”講習会”作品 又 手作りの マグネット付き手芸・抹茶席など…芸術の秋を少し楽しんで頂きましたでしょうか？

オープニングで披露させて頂いた、コーラス“ひばり”も早いもので結成5年を過ぎようとしています、町田先生のご指導で期待に添えるよう、練習を重ねてまいります。

【皆さんと一緒にコーラスを楽しみませんか?見学もOKです。】

本年も沢山のイベントに参加させて頂きました、皆様の多大なるご協力、ご参加ありがとうございました、心より感謝申し上げます。

婦人部会 会長 大嶋 朋子



11/11(土)

テニール大会

五代小校庭

7自治会総勢160名が参加し行なわれました、子供達から親・祖父母世代まで参加し、一緒に楽しいひと時を過ごしました。

結果は次の通りです。

優勝 北若松原
準優勝 若松原三
三位 みどり野



11/25(日)

ふれあいのつどい

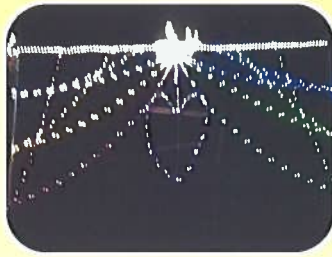
ふれあい広場

今年のふれあいのつどいでは、恒例の餅つきや・きなこ餅・ポップコーンが振る舞われ、健康体操、キャンドルアート、イルミネーション点灯の他に、今年から新たにパーフェクトチャレンジというスポーツイベントも行われました、ホールインワン・空き缶立て・輪投げ・ストラックアウトの4種類があり、子供からお年寄りまで多くの方がこれらのゲームに参加して、大いに盛り上がりました。

イルミネーション点灯式では、若松原一丁目の稲見万倭子ちゃんと、山名咲妃ちゃんによって点灯スイッチが押され、コーラスひばりのBGMが流れる中、ふれあい広場の東屋周辺を、鮮やかに彩るイルミネーションが点灯しました。その後はあったかい雑煮が振る舞われ、イルミネーションを楽しみながら、皆さんで美味しくいただきました。

事務局長 安生 功



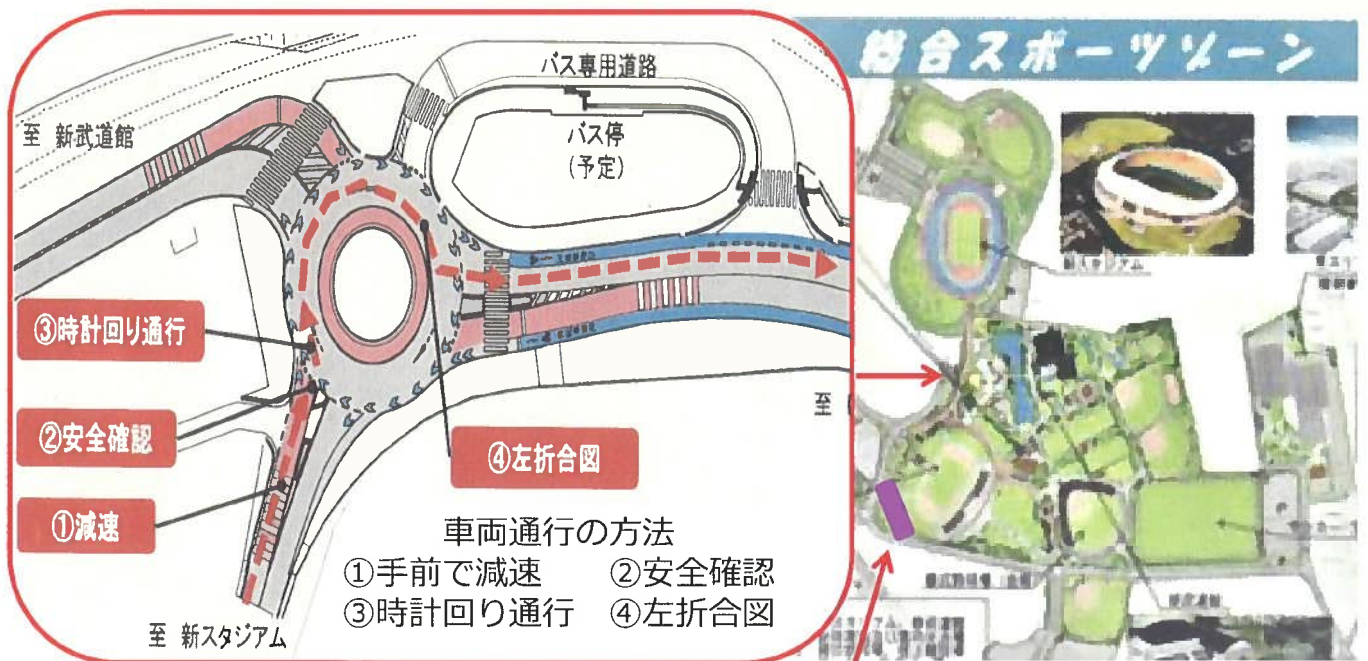


総合スポーツゾーン整備について

ラウンドアバウト について

前回号で総合スポーツゾーンを紹介し、定期的に回覧も回ってると思いますが、その中のラウンドアバウト（環状の交差点）について、紹介いたします。

- ①車両通行の方法・・・右回り（時計回り）に通行することが指定されてるもの。
信号待ちがなく、排気ガス消滅、停電の影響がない。
事故そのものや重大事故を減少させることができるものです。
- ②県内初であり、H33年に供用予定、国内では22都府県67箇所で供用されています。



12/2(日) 第3回桜の木の植樹会 運動公園陸上競技場周辺

五代若松原地区連合自治会及び姿川地区連合自治会の回覧で募集され申し込まれた、有志の方が参加して行われました。

今回は陸上競技場西側周辺を行いました、桜はジンダイアケボノという花卉の色が濃くより鮮やかで、ソメイヨシノと比べ病気に強い品種です。



五代若松原地域の歴史と古墳の紹介

今回は、西原開拓団・地神を紹介します

●昭和16,7年に第二の理想郷建設という大きな夢と希望を抱いてきた、13戸が北海道の旭川周辺から、そして2戸は東京都からの移住者で合計15戸の開拓団である、北海道から来た人の職業は、農業11戸・精米業2戸、東京都の2戸は料理店と酒屋であった、全員の意思が決定したのは昭和16年の夏であった、大東亜戦争勃発の直前に決まったことは幸いであった、1、2年後では大黒柱の働き手が失われ、農耕馬も徴発され、開拓及び農業経営が困難になったであろうそんな中、開拓は実施され大変なご苦労があったであろう。

●西原地区の大部分は山林であり、農家は今の若松原中学校を中心に南北十数戸であった、昭和17年に西原開拓団加わり30戸となり、最近は急速に宅地化して、表紙のように現在3,903戸にも達する住宅地となったのである。

●地神は西原開拓団の信仰の対象である農業の神であり、かつ団結のシンボルであって昭和16年開拓当時に北海道から移したものである。

●昭和51年11月には、入植35年を記念して「開拓記念碑」が建てられた。

●毎年恒例の地鎮祭が平成18年11月13日行われた。(全て北公民館庭内)



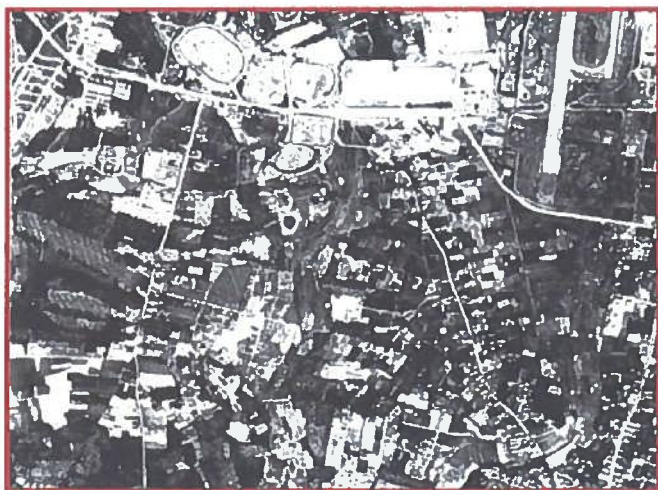
地神



開拓記念碑



平成18年地鎮祭



昭和40年西原付近航空写真



平成18年西原付近航空写真

◆次回紹介予定・・・北若松原 遺跡

編集後記・・・今回は、前期6月号は、主に新入役員の紹介、事業計画と予定を中心に掲載、後期1月号は、事業イベントの結果報告を中心に掲載となりました、又地域の歴史と古墳紹介の他に、新たに地域学校紹介をリレー方式で紹介しました。

今回より12月までの記事とした為、1月号と遅らせました、尚予定にありました、ふれあい体育祭・環境点検他など台風雨のため中止となりました。

五代若松原地区まちづくり推進協議会

安生 功 福田浩子 湯澤久代 高野康子 沼尾直美 福田一郎 浦生正行